福岡県米麦大豆生産改善速報７号

令 和 ５ 年 ３ 月 ６ 日
福　　岡　　県
福岡県米麦品質改善協会

麦の生育概況と対策

１．本年の気象［太宰府アメダス］

	１月 20 日～２月 28 日（40 日間）				
	平均気温	最高気温	最低気温	日照時間	降水量
	℃	℃	℃	hr	mm
本　年	6.3	11.2	2.1	161	80
前年差(比)	+1.0	+1.6	+0.6	89%	143%
平年差(比)	+0.2	+0.6	−0.1	101%	81%

注)平年は 1991～2020 年の太宰府アメダスの平均値。

２．麦の生育［小麦: 11月18日播種、大麦:11月24日播種］

１月20日～２月28日の平均気温は平年並となり、降水量は19%少なく、少雨で経過した。

３月１日現在の麦類の生育は、草丈は7～34%長く、茎数は平年並～27%多かった。主稈葉数は0.2～0.7葉多く、生育は進んでいる。茎立期は、小麦で２月４半旬～５半旬、大麦で２月５半旬～３月１半旬と前年より早かった。

３．今後の対策

（１）排水対策

今後の降雨に備えるために、排水対策が極めて重要である。排水口の整備、枕地作溝、溝さらえを行い、地表水を速やかに排水できるようにほ場を整備する。

（２）踏圧、土入れ

踏圧の実施は節間伸長開始期（晩限：草丈 20～25cm 程度）までであり、茎立期以降は行わない。土入れは排水対策や倒伏防止、雑草防除の効果が高く、茎立期後 10 日頃までに実施する。播種期や地域による生育差が大きいため、各ほ場における生育状況を確認して、作業の可否を判断する。

（３）雑草防除

広葉雑草の発生が多いほ場では、土入れや茎葉処理除草剤により防除を行う。除草剤による防除にあたっては、「普通作雑草防除の手引き」を参照し、最新の登録情報を確認して使用する。

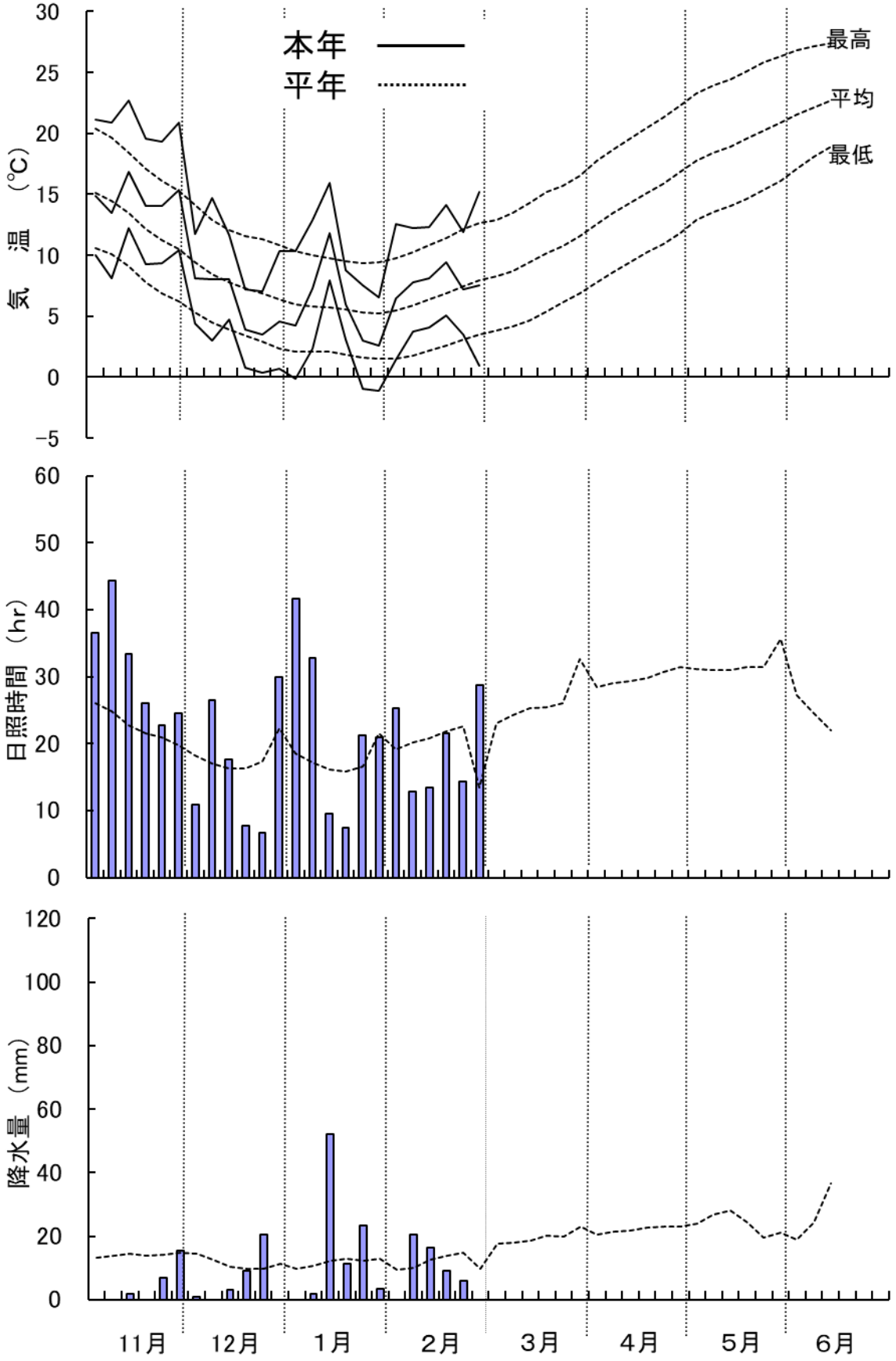
（４）追肥

２回目の追肥が終わっていないほ場では、基準量を速やかに施用する。

４．農林業総合試験場における調査成績

調査場所	播種期	品種名	年次	出芽期	1月20日			3月1日			茎立期
					草丈	茎数	葉数	草丈	茎数	葉数	
	月.日			月.日	cm	本/㎡	L	Cm	本/㎡	L	月.半旬
農産部	11.18	ﾁｸｺﾞｲｽﾞﾐ	本　年	11.27	15.7	526	5.1	35.2	786	7.5	2.5
			前年比(差)	-3	125	106	+0.8	127	68	+0.7	(3.2)
			平年比(差)	-2	115	111	+1.0	113	103	+0.7	―
		ラー麦 (ちくしW2号)	本　年	11.27	17.6	483	4.8	38.5	616	7.4	2.4
			前年比(差)	-3	131	104	+0.4	133	67	+0.5	(3.1)
			平年比(差)	-2	123	115	+0.6	119	95	+0.5	―
	11.24	ほうしゅん	本　年	12.5	10.8	336	4.2	25.9	1038	7.3	3.1
			前年比(差)	-4	135	102	+0.2	142	81	+0.1	(3.2)
			平年比(差)	-3	118	86	+0.5	119	98	+0.2	―
		はるさやか	本　年	12.5	10.8	407	4.4	26.0	1182	7.5	(3.1)
筑後分場	11.18	ｼﾛｶﾞﾈｺﾑｷﾞ	本　年	11.30	13.1	531	5.1	32.7	987	7.8	2.5
			前年比(差)	±0	106	100	+0.2	107	75	+0.3	(3.1)
			平年比(差)	±0	105	116	+0.6	107	112	+0.3	-
		ラー麦 (ちくしW2号)	本　年	11.30	16.2	535	5.1	42.2	805	7.6	2.4
			前年比(差)	±0	112	110	+0.4	131	81	+0.5	(2.5)
			平年比(差)	-1	111	123	+0.8	124	105	+0.4	-
	11.24	はるしずく	本　年	12.9	12.3	435	4.7	33.6	1516	7.6	2.5
			前年比(差)	±0	115	89	+0.2	137	95	±0	(3.1)
			平年比(差)	-1	118	115	+0.9	134	127	+0.2	-

注1）平年値はH24～R３年播の平均値。
2）前年比（差）、平年比（差）：草丈および茎数は前年比および平年比、出芽期および葉数は前年差および平年差を示す。
3）この値は暫定値で、今後変更することがある。



冬作期間の気象　（太宰府アメダス：令和４年11月～令和５年６月）